

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	高津区市民提案型協働事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		松田	64121	

事業の概要									
事業の概要		(1)市民の提案を基に、市民と協働で地域の課題を解決する。 (2)市民から事業提案を募集し、その提案の中で優れたものを選定し、その事業を提案者(市民)自らが区と協働して執行する。 (3)事業選定に当たっては、高津区市民提案型協働事業審査委員会による審査を行う。 ※なお、選定された事業の概要等は個別の評価書を参照。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域課題対応その他事業費			
		平成18年度	—						
地域の課題と現状		地域の課題が多様化する状況の中で、すべての区民ニーズに行政がきめ細かに対応することは困難な状況にある。一方で、地域においては市民による公共的な活動が行われている。市民の生活者としての視点・発想を活かし、相互に連携・協力し、課題の解決やサービスを提供していく必要がある。							
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度		
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
		事業費	1,030	999	3,276	1,012	3,266	784	
財源内訳		国庫支出金							
		市債							
		その他特財							
		一般財源	1,030	999	3,276	1,012	3,266	784	

計画 (Plan)	
事業の目的	市民の生活者としての視点・発想を活かし、相互に連携・協力し、地域課題の解決やサービスを提供していくこと。
今年度の事業の取組内容	(1)29年度実施事業を2事業実施する。中間ヒアリングや報告会などを通して所管課とともに事業の執行管理を行う。 (2)募集期間中に説明会を開催する。 (3)選定にあたっては、公開プレゼンテーションを開催し、審査委員会の選考結果を基に、最終的に区長が決定する。 (4)28年度に実施した事業について、外部委員による審査委員会により評価を行う。

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	(1)29年度実施事業を2事業実施し、中間ヒアリングや報告会などを通して所管課とともに事業の執行管理を行った。 (2)今年度説明会は実施せず、相談に来た団体に個別に対応した。 (3)29年度実施事業について募集をしたところ、3団体の応募があり、公開プレゼンテーション(平成30年2月9日開催)により、3団体の事業を選定した。 (4)28年度実施事業について、審査委員会により評価を行った。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 活動指標	説明会の開催	目標	1	1	1	回
			実績	1	1	0	
	2 活動指標	公開プレゼンテーションの開催	目標	1	1	1	回
			実績	1	1	1	
3 活動指標	審査委員会の開催	目標	2	2	2	回	
		実績	2	2	2		
4		目標					
		実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	地域課題のすべてに行政が対応することは難しく、多様な主体との協働や連携した取組の重要性が増している。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成 29 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	事業募集に係る説明会について、費用対効果を見直し、今年度は説明会を開催せず、相談に来た団体に個別に提案事業の説明を実施した。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域課題のすべてに行政が対応することは難しく、多様な主体との協働や連携した取組の重要性が増している。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	平成30年度事業の募集に対し、3団体の応募があり、3団体が選定され、事業を実施することとなった。成果は順調に上がっているといえる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	選定事業額<予算となっていることから、毎年多くの不用額が発生している。より多くの提案が出るように周知等を行うほか、不用額の扱いについて検討することで、効率的な事業執行になる可能性がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
翌年度以降も引き続き事業を実施するが、より応募・選定数が増えるよう市政だけでなく、広報・周知するなど改善を積んでいく。		

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	高津区市民提案型協働事業費(「わが街、たかつ」溝口駅周辺アーカイブ事業)			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		戸田	64121	

事業の概要									
事業の概要		高津シルバーガイドの会と協働で溝口駅周辺の古い写真や資料を収集し、写真展や講座・イベントを開催する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域課題対応その他事業費				
		平成29年度	平成29年度						
地域の課題と現状		・地域に残る貴重な資料や記憶が、世代交代等により散逸している現状がある。 ・高津区は転入者も多く、まちの成立ちや地域に点在する歴史資源の由来を知らない住民も増えている。							
予決算 (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
		事業費		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳		国庫支出金		0	0	0	0	548	521
		市債							
		その他特財							
		一般財源		0	0	0	0	548	521

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区の玄関口である溝口駅周辺の変遷を後世に伝え、区民へ溝口駅周辺の魅力を再発見する機会を提供し、区民の郷土愛を育むことを目的とする。
今年度の事業の取組内容	・溝口駅周辺の古い写真や資料の収集 ・収集した写真や資料を活用した写真展や講座・イベントの開催

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等	・溝口駅周辺の古い写真や資料を約100点収集した。 ・収集した資料や高津区ふるさとアーカイブデータベースに登録されている写真を活用して区役所で2回、ノクテイ連絡通路で1回、写真展を開催した。また、溝口駅周辺でのまち歩きイベントを開催するとともに、溝口駅周辺のまちの移り変わりを参加者と共に振り返る講座を開催した。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	写真展の開催	目標	/	1	回
				実績	—	3	
	2	活動指標	講座の開催	目標	/	1	回
				実績	—	1	
3	活動指標	イベントの開催	目標	/	1	回	
			実績	—	1		
4			目標	/			
			実績				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		高津のまちに関する各種資料が、年々地域から消えつつある。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津のまちに関する各種資料が年々地域から消えつつあり、それらの散逸する資料を収集・整理・保存・活用することが求められている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	写真展へ訪れた方々やイベント・講座に参加した方々へのアンケート結果を見ると、「自分のまちにさらに愛着や興味をもった」「溝口駅周辺地域の魅力を再発見できた」という趣旨の意見がみられたため。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	市民活動団体の自立性をより高めた形で事業を行うことにより、より効率的に事業を実施することができる可能性がある。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	開始当初から単年度事業としての事業実施を予定していたため、事業は終了するが、本事業を通じて把握することができた地域のニーズや得られた他団体との関係性等を活かして高津区ふるさとアーカイブ事業に引き継いでいく。

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	高津区市民提案型協働事業費(キッズドクタースクール)			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675000		地域ケア推進担当		三門	64811	

事業の概要								
事業の概要		地域の子どもたちに、病院・医療に対する関心・理解を深め医療現場の魅力を知ってもらい、さらには将来の医療従事者への志望や進路につなげることを目的に、病院で働く医療職(薬剤師・検査技師・看護職等)について実際に体験する機会をつくる。また、親子での参加とし、保護者には検診の啓発を行う。						
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域課題対応事業その他事業費			
		平成29年度	平成29年度					
地域の課題と現状		社会の高齢化や、人口減少に伴う医療・福祉に係る人材確保は重要な課題であり、将来を担う子どもたちに体験の場を通じて選択肢を提示することには大きな意義がある。						
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	0	0	0	0	92	92
財源内訳		国庫支出金						
		市債						
		その他特財						
		一般財源	0	0	0	0	92	92

計画 (Plan)	
事業の目的	地域社会を構成する団体である帝京大学医学部附属溝口病院からの提案を受け、地域の子どもたちに職業としての医療従事者の魅力を、保護者には検診の重要性を啓発する。
今年度の事業の取組内容	キッズドクタースクールを開催し、院内探検、調剤体験、内視鏡体験、AED体験を実施する。同時に検診の重要性についての講義を行う。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	8月5日のイベント当日は30組の親子が参加し、後日14組の参加者から保護者アンケートと子どもの体験感想文が返送された。アンケートには全て肯定的な回答、体験感想文には命・健康の大切さに対する認識や将来に向けた希望が書かれており、優秀作品4点について2月24日表彰式を行った。イベント当日及び表彰式の様子がタウン誌で取り上げられ、参加者以外の地域住民にも一定の啓発効果があった。また、事業提案者の満足度も非常に高かった。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	キッズドクタースクール参加者			目標	—	30	組
					実績	—	30	
	2				目標			
					実績			
3				目標				
				実績				
4				目標				
				実績				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	本市における少子高齢化のペースは他都市に比べて遅いと予測されている。健康寿命の延伸、医療費給付の適正化のため、各種検診啓発の必要性は将来にわたって減少することはないと思われる。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	単年度実施の市民提案型協働事業のため、当該・事業者ともに振り返りを実施。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	少子高齢化を背景とする医療従事者不足は引き続き課題となっている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	参加者・事業者の満足度が非常に高い。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	単年度事業であり、区の事業として継続する予定はない。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	参加者には非常に好評であり、継続を望む声強い。一方でスタッフ配置・設備開放等、事業提案者の負担によるところが大きく、事業者の判断で継続されるのであれば、区としては地域づくりの一環としてサポートしていく。

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	15	高津区地域課題対応事業外部評価事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		熊島	64122	

事業の概要								
事業の概要		高津区地域課題対応事業の執行にあたり、外部評価委員(学識経験者)による外部の視点を加えた評価を行うことで、より区民のニーズを反映し、市民協働、職員の意識改革などを推進させ、事業の透明性の向上を図る。						
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域課題対応その他事業費		
		平成18年度	—					
地域の課題と現状		地域課題対応事業について、外部の視点による評価を行い、より効果的・効率的に事業を実施し、地域の課題解決を図っていく必要がある。						
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	818	818	1,032	964	1,032	999
財源内訳		国庫支出金						
		市債						
		その他特財						
		一般財源	818	818	1,032	964	1,032	999

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区地域課題対応事業の執行にあたり、外部の視点を加えた評価を行うことにより、より区民のニーズを反映し、市民協働、職員の意識改革などを推進させ、事業の透明性の向上を図ることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	平成28年度に実施した高津区地域課題対応事業のうち、6事業について、高津区地域課題対応事業外部評価懇談会を開催し、外部評価委員(学識経験者)による評価を実施する。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		高津区地域課題対応事業外部評価懇談会を4回開催し、平成28年度高津区地域課題対応事業について、6事業の外部評価を実施した。						
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
		1	活動指標	外部評価実施事業数	目標	6	6	事業
					実績	6	6	
		2	活動指標	高津区地域課題対応事業外部評価懇談会開催回数	目標	4	4	回
					実績	4	4	
		3			目標			
					実績			
		4			目標			
					実績			

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域の課題が多様化・複雑化する中、事業をより一層効率的・効果的に実施することが求められている。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 平成 29 年度 □ 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		様式の「今後の事業の方向性」について、方向性区分を地域課題対応事業評価シートと同様に見直した。	
		評価項目	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域の課題が多様化・複雑化する中、事業をより一層効率的・効果的に実施することが求められているため。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	外部評価を行う中で、前回評価時指標事項が改善され効果が出ていることが認められている部分があるため。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	年間4回開催している懇談会の回数と委員の数を減らすことができる可能性があるため。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	事業をより一層効率的・効果的に実施することが求められているため、外部評価事業を継続していく。次年度は委員の任期が2年目にあたるため、懇談会の回数・委員の数については継続する予定。